

5-13 静岡県相良町および静岡市上坂における地殻傾斜連続観測 (XII)
Observations of the Crustal Tilts at Sagara and Kamisaka Stations
in Shizuoka Prefecture (XII)

静岡大学教養部
静岡県地震対策課

Faculty of Liberal Arts, Shizuoka University
Earthquake Preparedness Division, Shizuoka Prefectural Government

東海地震の予知を目的として、1983年3月に静岡県相良町(34°40.5' N, 138°11.0' E, 105m)に365mの長距離水管傾斜計をN60° W方向に設置した。また、1985年3月には静岡市北沼上(上坂, 35°01.5' N, 138°25.2' E, 45m)にも83mの水管傾斜計をN54° W方向に設置した。相良町の傾斜計で得られた1993年10月末日までの記録を、近くの雨量とともに第1図に示す。なお、上坂の記録は1993年4月以降、増幅装置の故障のためほとんどデータが得られていないので、今回の報告から省く。

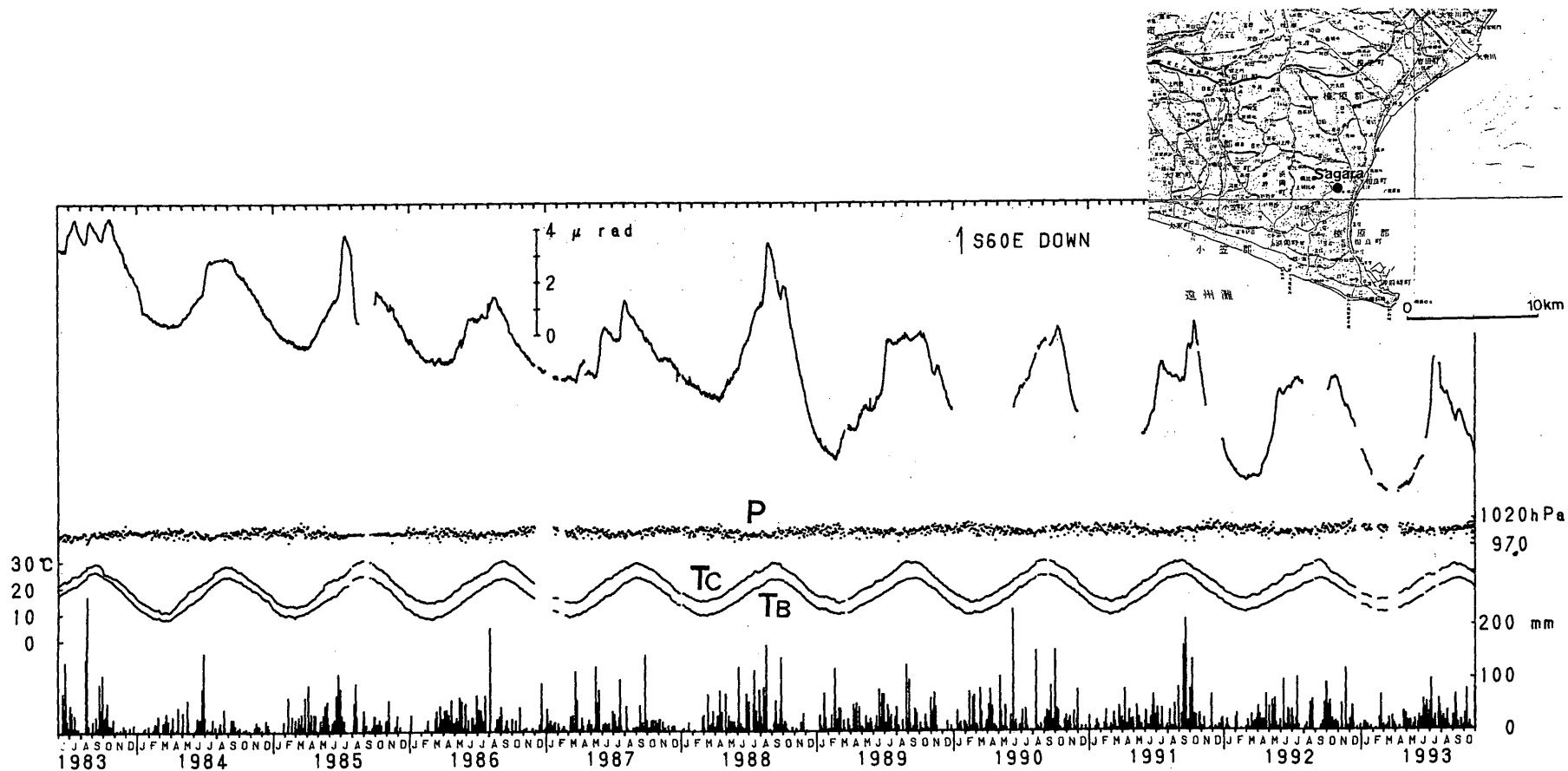
相良観測点の傾斜計の記録は大きな年周変化を示している。年周変化の大部分は降雨による地下水位の変化と温度の変化の影響と考えられるので、牧ノ原アメダスの雨量記録と傾斜計北西端の温度記録をもとに、50日前までの雨量と当日の温度が得られた傾斜記録に影響を及ぼしているとして、それぞれの補正係数を最小二乗法で求めた。この値を用い、傾斜変化から雨量と温度の影響を補正したものを御前崎での有感地震とあわせて第2図に示す。観測開始以来、約0.7 μ rad/yearの速度で北西側(内陸側)への傾斜変化が続いている。

傾斜変化の様子は、最近とくには変化していない。

(里村幹夫・飯塚修功・井野盛夫・岩田孝仁)

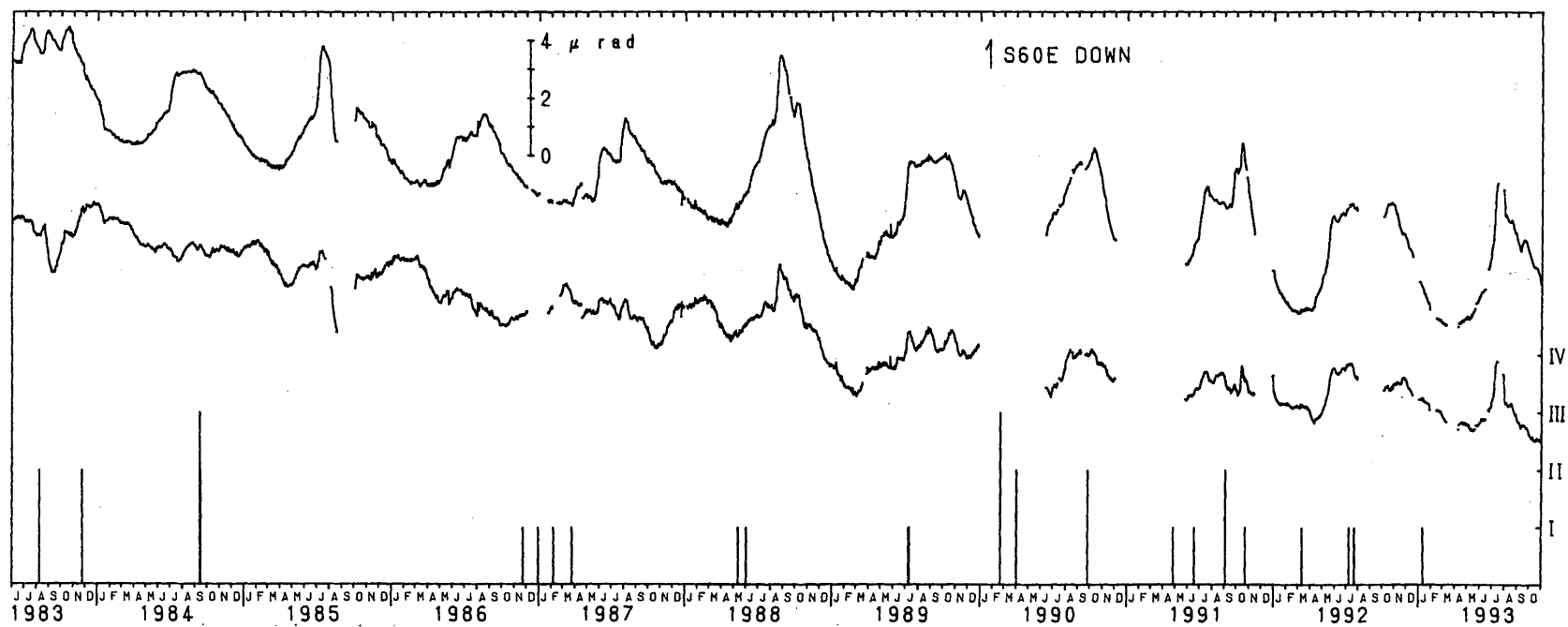
参 考 文 献

- 1) 静岡大学教養部・静岡県地震対策課：静岡県相良町および静岡市上坂における地殻傾斜連続観測 (X1), 連絡会報, 50, (1993), 378-381.



第1図 相良観測点での水管傾斜計による傾斜，気圧（P），傾斜計の中間点（ T_c ）と北西端（ T_b ）での温度の日平均値，および牧ノ原アメダスによる日雨量。（1983年6月～1993年10月）

Fig.1 Daily mean values of the tilt, atmospheric pressure (P) and room temperatures (T_c and T_b) at the Sagara Station, and daily precipitation near the tiltmeter site. (June, 1983–October, 1993)



第2図 相良観測点の水管傾斜計の日平均値と、それから雨量と温度の影響を取り除いた結果。縦線は御前崎における有感地震の震度。(1983年6月～1993年10月)

Fig.2 Daily mean values of the tilt, and those corrected for the precipitation and temperature influences at the Sagara Station. Seismic intensities of the felt earthquakes at Omaezaki are shown on the bottom. (June, 1983—October, 1993)